

新年明けましておめでとうございます。今年の干支は「午」。天馬空を翔るような吉年にしたいものです。「ソチ五輪」も間もなく開幕、「サッカーW杯」など、日本人選手の活躍が楽しみな年です。

12月の相談から ～ 原因探しから、どう未来を変えていくかの意識転換を～

不登校生徒を抱え悩まれている母親が来室されました。5月頃から学校に行けなくなったとのこと。午後は普通に元気になるのに、朝は体調がすぐれないようで起きられず、学校に行けない日が続き、不登校になったということでした。たまに遅れて保健室登校をすると、友達が心配して声を掛けてくれるようなのですが、有り難い反面、それもプレッシャーになっているようで、「普通に接してほしい」「ほっといてほしい」という気持ちが本人にあるようだと話しておられました。

私たちは、お母さん自身がストレスを貯め込まないためにも気軽に相談室へ立ち寄ることを勧めるとともに、中学校時代に不登校だった生徒が高校入学を機に立ち直っている例も多くあること、そして、シャイニングクラス学習の参観もお誘いしました。子どもは、親の期待や気持ちに驚くほど敏感です。登校できずにいる自分自身を責めているかもしれません。

親御さんの「登校しないこと＝悪」の意識から、半ば「諦め（開き直り）」の気持ちで接した時に、家庭が明るくなり好転したという例もあります。一昔前まで、「学校は休まず通う所」でした。しかし、最近は「学校は無理をして行っては行けない所」という位置づけに変わってきているようにも思います。深刻にならずにとっても難しいところもありますが、原因探しより、これからどう未来を変えていくかの意識転換を図りたいものです。

不登校児童生徒を抱える保護者の皆様には、ご心配なことも多いものと思いますが、学校とのつながりのほかにも別のパイプとして、相談室とのつながりも持ってほしいと思っています。

<リスタートクラス> ～ 人見知り～



いつものんびりとしているリスタートクラスですが、2014年は1月6日から活動を開始致しました。しかも、今年の抱負を一字にして書初めをしました。リスタートクラスにしては珍しい新年のスタートとなりました。

Aさんは、初め「堂々」という文字を書きたいと言っていましたが、左利きの彼女は、結局左馬を書きました。また、年男と年女のK君とMさんはそれぞれ、「十」と「健」。文字にどんな思いがあるかはさておき、鈴木教育相談員の指導を受けながら、慣れない筆で一生懸命に書き上げることが出来ました。

さて、今年20歳になるAさん、ついこの前まではかなり無口でしたが、最近よく話すようになりました。本人は、「人見知りの時期が終わった」と言っています。ウィキペディアによると、「人見知り（ひとみしり、英語：Shyness）とは、従来は子供が知らない人を見て、恥ずかしがったり嫌ったりすることである。」とあります。Aさんが「堂々」という文字をイメージしたのは、成長とともに自己表現が堂々とできるようになったからかな…と思いました。これを本人に言うと怒られますが、中学の頃は口を真一文字に結び、まるで人形のようなものでした。それはそれで、魅力的だったのですが、本人にとっては結構辛かったんだろうな…、と思います。

馬は、逆さに読むと「まう」となります。左馬を書いたAさん、大いに「舞う」1年となるといいですね～。

＜適応指導教室＞ (シャイニングの様子)

近い将来を見据えつつ

お陰さまで通級生も、元気に年の瀬を迎え新年を迎えました。1年の締めくくりということもあってか、12月は学習に拍車がかかった気がします。生徒たちは同級生の勉強内容に少しでも追いつきたいという思いを強く持ち、先生方もその気持ちを尊重し真剣に進めてくれました。そんなこんなで年の瀬まで、精一杯がんばったと言えるようです。

体験活動も年末を意識した内容に取り組みました。作るのももらうのもうれしいポップアートカード。発想・工夫の楽しさに加え、手にする人の驚きを連想しながらの制作です。いざ取り組みだすと口を一字に手先に集中。時々深呼吸。初回だけにそれほど手の混んだ作品にはなりませんでしたが、面白味は存分に味わうことができました。

クリスマスに近くなってきたところでは、リースづくりも体験しました。春の野外散策の際に集めていた木の実や秋の畑の縁で取り込んだアケビの蔓を材料に、巻き込んだり接着したり、はたまた既製の小物をあしらったり。「あちーい。」「とれたー。」の奇声やら、どこに飾ろうかとか、そして当日のケーキや料理は何を食べたいかなど、どこまでも会話が弾んだのでした。

最終日は、学校で渡された厚物のテキストに取り組んだ後、ホットケーキとタコならぬイカ焼きでお楽しみ会。大事な材料が抜け落ちてはいましたが、わいわい食べればなんのその。激動?の25年の締めくくりでした。

当クラスそのものがあまり居心地よくなっているとはいえませんが、師走から、学校の相談室にちょっと足を踏み入れている生徒もいます。その勇気と葛藤は計り知れないほどなのですが、当室の目標でもあり彼らの本来のあるべき姿なのです。今がチャンス。年度末まで学校と3人4脚、毎日登校とは言わないまでも、学校の出席簿に「/」の出席マークを増やすべく、努力をしていきます。



ポップアップカードづくり (12月5日)



クリスマスリースづくり (12月19日)

1月の活動

在籍 シャイニングクラス 2名
リスタートクラス 6名

シャイニングクラス	リスタートクラス
○ 月曜日 理科、数学	○ 月曜日 自主活動
○ 水曜日 国語、英語	○ 木曜日 体験活動
○ 金曜日 社会、体育	
○ 木曜日 体験活動 (月2回)	

◆ 体験学習 ⑱ 1月9日 (木)

今年の決意を「一文字色紙」に表す

◆ 体験学習 ⑲ 1月23日 (木)

教育研究センターで「理科実験」



あ と が き

朝日新聞は、元日より『教育の特集』を組んでいました。見出しを見ると「グローバルって何? めざす世界の1%」「格差を超える、学校は格差を超えられるか」「授業の未来形、“教わる”からの卒業」「もう一つの学び、望む学校、市民がつくる」「膨らむ塾、つかめアジアの教育熱」等で、世界に目を向けながら、日本の教育を捉えていました。国内に目を転じると、新たな英語教育の実現や道徳教育の充実に向けた動きもあり、新政策にも注視していく必要があります。

本年もどうぞ、よろしくお願い申し上げます。

教育相談室担当者

- ダイヤルなんでも相談 鈴木
TEL 23-7266
- 適応指導教室 (シャイニング) 林・小野
- 青少年の自立支援 (リスタート) 菖蒲
TEL 22-2111
(内線 445、448)